

いわき市女性の活躍推進事業【いわき市】

地域の実情と課題

本市では、平成13年3月に「いわき市男女共同参画プラン」を策定、平成23年1月には第二次男女共同参画プランを改訂し、計画に基づき様々な事業を実施している。

女性の活躍推進には、女性の人材育成と男性の働き方やワーク・ライフ・バランスの考え方の浸透が不可欠なことから、経済団体、地域団体、企業や市内の大学などと連携した事業を展開し、企業や学校、地域で、女性が活躍できるようネットワークの構築を図るなどし、女性が活躍できる環境整備が必要である。

事業の特徴

- ①企業アンケート調査
・今後創設を予定している、女性活躍や男女共同参画に先進的に取り組んでいる企業の認証制度の基礎資料とした。
- ②女性活躍推進フォーラム事業
・仕事と「育児・介護」の両立に向けてについて、講演を行い、その後、パネルディスカッションで「女性がともに仕事と生活を両立していくために」について、意見交換を行った。
- ③女性人材育成事業
・平成28年2月に「男女共同参画トップセミナー」及び「イクボス養成講座」、3月に「いわきWOMAN FESTA」を開催したほか、女性の人材育成講座として「女子大生編、働きたい女性編、働き続ける女性編、企業の女性リーダー（候補）編」を計11回実施した。

事業の効果

- ①企業アンケート
企業の現状把握ができ、今後のプランの数値目標の設定ができた
来年度、女性活躍や男女共同参画に先進的な企業の事例集を作成する企業の発掘ができた。また、市内事業の現状を把握することで、市独自の認証制度創設の基礎資料となった。
- ②女性活躍推進フォーラム
参加者が、参加後「ワーク・ライフ・バランスは理解できた人」が86%であり、また、市男女共同参画情報紙Wing44号（平成28年3月発行）に基調講演・パネルディスカッションの内容を特集で掲載したことで、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの重要性を発信することができた。
- ③各講座の参加者のうち、男女共同参画サポーターに18名の登録があり、今後の女性活躍推進のネットワークづくりの取り組みにつながる。

目的・目標

- ①企業アンケート調査：目標達成度 100%
・女性活躍、男女共同参画に先進的に取り組んでいる企業の認証制度創設の基礎資料とした。
- ②女性活躍推進フォーラム事業：目標達成度 80%
・参加者が当初予定していた人数の半数だったが、フォーラムに参加できなかった人達への理解促進に向け、男女共同参画情報紙に記事を掲載し世帯回覧を行った。
- ③女性人材育成事業：目標達成度 80%
・トップセミナーは募集人数を超える参加であった。
・イクボス講座は、参加者の45%が、企業のトップや管理職であった。
・分野ごとの講座やWOMANFESTAの参加者同士が交流を深められたことや、今後のネットワーク作りのための「男女共同参画サポーター」に18名から登録があった。

連携団体

- ①企業アンケート
・連携部署：商工労政課、行政経営課
- ②女性活躍推進フォーラム
・連携部署：福島県男女共生センター、地域創生課
・連携団体：いわき商工会議所
・事業の周知：福島県次世代育成支援認証企業（市内企業）、東日本国際大学、いわき明星大学、福島工業高等専門学校、いわき短期大学、男女共同参画推進団体
- ③女性人材育成事業
・連携部署：商工労政課、地域創生課
・連携団体：いわき商工会議所、市内企業（受講者の推進、ロールモデルの推薦）
・事業の周知：福島県次世代育成支援認証企業（市内企業）、男女共同参画推進団体、東日本国際大学、いわき明星大学、福島工業高等専門学校、いわき短期大学

今後の課題

- ・女性活躍や男女共同参画に先進的な企業の認証制度創設にあたっては、学識経験者や経済団体等と連携を強化し、認証要件などの検証を進める。
- ・人材育成講座の女子大生編については、講座の周知に関しては、大学の協力は得られたが、参加者が少なかったことや女性活躍の講座にはぜひ男性にも参加してほしいとの声があったことから、今後は大学と連携し、授業などの時間で講座ができるように連携を強化する。
企業の女性リーダーについては、経済団体のほか個別に企業に依頼をしたが参加者が少なかったことから、更に賛同する企業を開拓し様々な業種の女性リーダーを集めていく必要がある。
- ・セミナーや講座等の募集の周知方法で、男女共同参画センター独自のFBを作り、SNSを使った広報についての検討。

